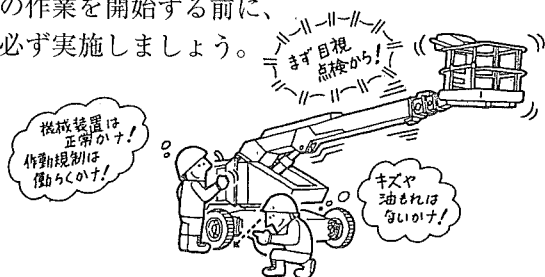


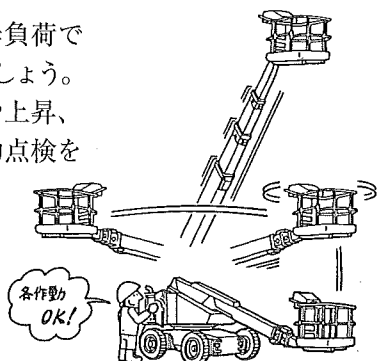
スカイマスター 始業点検

1. 作業開始前の点検

- その日の作業を開始する前に、点検を必ず実施しましょう。



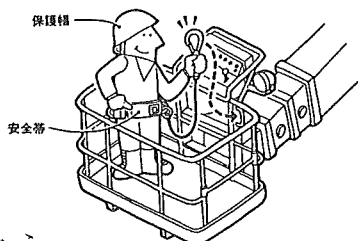
- まず機体を一回りし、各部に異常が無いか目視点検を行いましょう。
- 作業確認は、必ず無負荷で下部操作から行いましょう。
- 起伏、旋回、伸縮や上昇、下降及び走行の作動点検を行いましょう。



- 緊急停止の作動確認を行いましょう。
- バスケットが常に平衡保持されるか確認を行いましょう。
- 作動規制装置が正しく働くか、一つ一つ確実に点検を行いましょう。
- 作業床の異常の有無について確認を行いましょう。
- 首振り機構の異常の有無について確認を行いましょう。
- 作業床に搭乗し、上部操作装置の作業確認を行いましょう。
- 非常用ポンプの作動確認を行いましょう。
- 最後に機体を一回りして、点検を完了しましょう。
- 毎日の点検結果は記録し、保管しましょう。

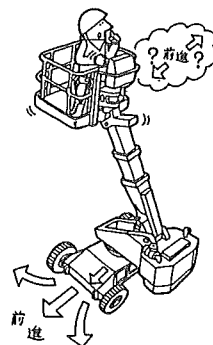
2. 作業時の注意事項

- 作業場所への機体の位置決めは、確実に行いましょう。
- アウトリガは正しく接地させましょう。
- 作業場所の安全対策を実施しましょう。
- 作業床への搭乗は、保護帽と安全帯を必ず装着しましょう。



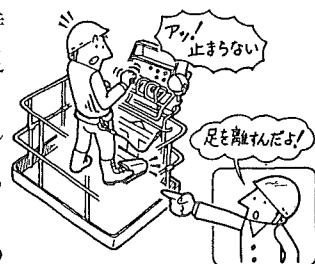
- 定格荷重を厳守しましょう。
- 作業前に、周囲の状況をよく確認しましょう。
- 作業車の向きと、作動する方向が違う場合が多いので、操作レバーと作動方向を必ず確認してください。
- ステアリング操作では、走行方向を誤らぬよう、車体の前方・後方を必ず確認してください。

- スムースな作動・停止の操作に心掛けましょう。
- 作業位置への幅寄せでは、走行操作は絶対に止めましょう。



- 作業中の車両移動は、周囲の状況に充分注意してから行いましょう。
- バスケットや作業台に搭乗者がいる場合は、下部での操作は慎重に行いましょう。
- バスケットや作業台の搭乗者は絶対に物を落下させないようにしましょう。
- 作業車は、絶対に無理な姿勢での作業はしないようにしましょう。
- 作業時には、操作解除状態にしておきましょう。
- 非常事態発生時には、緊急停止ボタンを押して、機体の作動を停止しましょう。
- 作業中、バスケットの平衡取り調整を行うのはやめましょう。

- レバーやボタンによる上部操作に異常が起こった時は、フットペダルをから足を離しましょう。
- 上部操作は、フットペダルを踏まないで行えません。フットペダルは、バスケット側での操作を行う場合のメインスイッチになっているので、上部操作を行う場合は必ずフットペダルを踏んでから行うこと。



- 仕業点検時には必ずフットペダルが作動するか確認して下さい。
- フットペダルの周囲に物を置かないでください。
- 悪天候時には使用を中止しましょう。



3. 作業終了後・その他

- 作業終了後は、ブーム及び作業床を確実に格納しましょう。